

問題 31-84 異時点間消費の計算(対数表示の効用関数のケース)

家計の二期間モデルを考えます。この家計の効用は、

$$U(C_1, C_2) = \ln C_1 + 0.5 \ln C_2 \quad (C_1: \text{第1期の消費}, C_2: \text{第2期の消費})$$

で示されていて、第1期から第2期にかけて貯蓄または借入れを行った場合の金利は20%です。

この家計は、第1期から当初には何も資産を保有していません。また、第1期の所得は1,000、第2期の所得は600でした。さらに、政府はこれらの所得に対して、第1期に100の一括税を徴収し、第2期に120の年金を支給します。

この消費者が効用を最大化する場合に、第1期にとる行動として妥当なものはどれですか。

- 1 200の借入れを行います。
- 2 100の借入れを行います。
- 3 借入れも貯蓄も行いません。
- 4 100の貯蓄を行います。
- 5 200の貯蓄を行います。

(国家総合職 改題)